

## 第14回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

議題. 1 藤沢市自転車活用推進計画について

議題. 2 ふじさわサイクルプランの実施計画(素案)について

分類	ご意見・提案	事務局回答
<p style="text-align: center;"><b>はしる</b> ～走行空間整備～</p>	<p>自転車が安全に走行できる通行帯を設けることで、車道・歩道における自転車の事故、歩行者を巻き込んでの事故の軽減に繋がると思うので、自転車走行空間の整備を早急に取り組んでほしい。</p> <p>自転車走行空間整備は「車道混在」、「自転車専用通行帯」が中心であるが、自転車利用者が安全と思えるものではないと感じる。自転車利用者が安心して利用できる自転車走行空間はどのようなものか、国が示すガイドラインとは別に議論が必要と考える。</p> <p>「藤沢市自転車走行空間のあり方」の「4. 自転車走行空間設置の考え方」では、自動車が進んでいくときの自動車の速度、自転車との側方間隔の問題が取り上げられていないので、自転車利用者が安全と思える走行空間とはどのようなものかと言う考えが抜けていると思う。</p> <p>自転車は「車両」であり、車道の左側通行が基本であるが、自転車利用者の安全が後回しにされているように感じる。都市計画道路土棚石川線は、幅の広い自転車歩行者道が整備されているにも関わらず、車道に矢羽根が設置されたが、自転車走行空間としては安全と言えない。</p> <p>藤沢駅周辺や市役所周辺の歩道等において、自転車の押し歩きが守られておらず危険である。</p>	<p>自転車・ひと・自動車が安全・快適に走行できる環境の創出に向け、将来的な自転車ネットワーク路線における自転車走行空間の整備が重要であると考えております。 今後、「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】」に基づき、計画的な自転車走行空間の整備推進を図ってまいります。</p> <p>国土交通省道路局と警察庁交通局が「自転車は車両であり、車道を通行することが大原則」とした、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を平成24年に作成したことを受け、藤沢市では、「ふじさわサイクルプラン(平成26年3月)」及び「藤沢市自転車走行空間のあり方(平成26年9月)」を策定し、自転車は車道の左側通行を基本とする自転車環境づくりに取り組んでおります。 自転車走行空間の整備にあたりましては、路線ごとに「自転車や歩行者、自動車の交通量」や「沿道の土地利用状況」、「歩道の形状」、「幅員構成」等を考慮し、交通管理者等の関係機関と協議のうえで進めてまいります。 土棚石川線については、鉄道駅や学校、公園などの公共施設にアクセスする路線であることから、子どもを含めた歩行者の通行が多い路線となっております。このことから、安全で快適な歩行空間及び自転車走行空間の確保のため、車道に自転車走行空間の整備を行ったものであり、自転車と歩行者の分離や自動車への注意喚起、自転車通行箇所の明示、自転車の逆走防止等について効果があり、安全性が向上したと考えております。</p> <p>藤沢駅周辺については、「鉄道駅周辺の自転車走行空間整備計画【藤沢駅】」に基づき、駅周辺のネットワーク路線や駅中心部の押し歩きの案内表示の設置により、安全で快適な歩行空間及び自転車走行空間の整備を進めてまいります。 今後、利用状況を確認しながら、地域や学校、交通管理者などと連携し、自転車利用のルールの周知徹底を図ってまいりたいと考えております。</p>
<p style="text-align: center;"><b>とめる</b> ～駐輪環境整備～</p>	<p>鉄道各駅周辺の駐輪場整備は順調に進んでいると思う。</p> <p>駐輪場の整備は機械式の導入も含め、高齢者等、人にやさしい形の整備を希望する。</p> <p>駐輪場があっても「短い時間だから」と歩道上に駐輪し、その一台が駐輪の連鎖を招き、車いす・ベビーカー・白杖を持った方などにとって安全とは言えない歩道と化してしまう。使いやすい・止めやすい駐輪場の整備と同時に市民一人ひとりの意識向上への取り組みを進めてほしい。</p>	<p>引き続き、鉄道駅周辺における駐輪施設の整備を進めてまいります。</p> <p>少ない力で自転車を収納できるラックや、電子マネー対応のゲートを設置するなど、「誰もが使いやすい駐輪施設」を目指し、駐輪施設の整備を進めてまいります。</p> <p>歩行などの妨げや災害時における緊急避難の支障になることから、自転車等放置禁止区域を中心に放置自転車や放置バイクに対する警告及び移動を行っております。引き続き、駐輪施設の整備や、意識向上に向けた啓発活動を実施することにより、安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行ってまいります。</p>
<p style="text-align: center;"><b>つかう</b> ～利用促進～</p>	<p>神奈川県自転車活用推進計画の施策である「自転車の駅」の考えを藤沢市も盛り込んでどうか。自転車利用者が多い境川沿いの自転車道付近にも設置できたら助かる。また、アプリ等を活用して、「コースマップ」、「駅マップ」などがあれば便利だと思う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、通勤・通学などの移動手段としての自転車利用が注目されていることから、安全・安心な自転車利用が前提ではあるが、感染予防対策のための自転車利用を健康施策として考えてはどうか。</p> <p>大規模な公園に家族や仲間と自転車で出かけられる様な施設に関することも検討が必要と考える。</p> <p>自転車活用推進計画については、自転車が活用しやすく利便性が高いシェアサイクルなどの環境整備がとても重要だと思う。</p>	<p>ふじさわサイクルプランの基本方針3「つかう～利用促進～」において、自転車を利用しやすい環境づくりに向けて、既存駐輪施設の情報を載せた自転車マップの作成が検討されております。ご意見いただいた、神奈川県自転車活用推進計画にある「自転車の駅」に関する考えにつきましては、今後のふじさわサイクルプラン推進連絡協議会において検討していきたいと考えております。</p> <p>自転車通勤につきましては、自転車活用推進計画(平成30年6月閣議決定)の施策として推進するものとされております。また、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(令和2年3月28日新型コロナウイルス感染症対策本部決定、5月25日変更)においては、感染の拡大を防止するため、自転車通勤等の人との接触を低減する取組が推奨されております。引き続き、ふじさわサイクルプランに基づき自転車利用の促進を図るとともに、今後の改訂に向けて、「健康の観点」についてもふじさわサイクルプラン推進連絡協議会で検討していきたいと考えております。</p> <p>ふじさわサイクルプランのめざす将来像「だれもが安全・快適に自転車利用ができるまち～ふじさわ～」を目指し、走行空間の整備等、各施策を推進していきたいと考えております。また、自転車にふれあう機会の創出につながる「施設の整備等」に関しては、新たな施策として検討が必要か精査していきたいと考えております。</p> <p>ふじさわサイクルプランの基本方針3「つかう～利用促進～」は自転車を利用しやすい環境づくりを目指しております。シェアサイクルにつきましては、神奈川県のほか、本市を含む4市3町及び県市町観光協会により構成される「湘南地域自転車観光推進協議会」が主体となり「湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業」を進めております。今後は本実証実験における利用実態等の検証を行い、利用者使いやすいサイクルポート用地の提供等、可能な支援を検討したいと考えております。</p>
<p style="text-align: center;"><b>まもる</b> ～交通ルールの遵守～</p>	<p>交通指導が徹底されなければ交通事故が多発し、特に高齢者が危険にさらされる。</p> <p>自転車の活用を進める前に、運転マナー教育から始めないと事故が多くなる。</p> <p>交通ルールの周知徹底と併せ、自転車のマナーについても周知徹底を図る必要がある。</p>	<p>市では、「自転車マナーアップの日」のキャンペーンや年4回の交通安全運動期間に合わせた自治会・町内会への回覧、公共施設へのポスター掲示や学校での交通安全教室等など、様々な機会をとらえて自転車の交通ルール・マナーの周知啓発を実施しております。しかし、自転車の利用について、正しいルール・マナーを守られていない方がいらっしゃることも事実です。自転車を利用される方に、正しいルール・マナーを守って自転車を利用してもらえるよう、各交通安全団体や取締りを実施している警察と連携して、効果的な啓発方法やタイミングなどについて引き続き検討してまいります。</p>